

### 目次

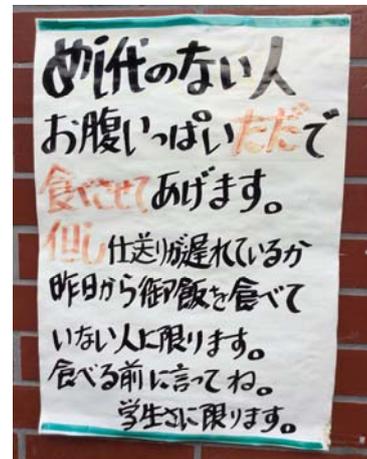
- ・ series わたしの仕事 (22) 富士通株式会社……内藤 拓 (pp. 2-7)
- ・ The car which I loved (7) 1976年型ポルシェ911S(の中古)……重田達雄 (pp. 8-11)
- ・ ドイツ俳句のそれから (3)……稲積 充 (pp. 12-15)
- ・ 駒込界隈と本郷通りの名所散策……中谷 博 (pp. 16-23)
- ・ グラビア：桂キャンパスの校舎の廊下が朝日に染まる瞬間……編集人 (p. 24)
- ・ COFFEE BREAK @Zoomのご案内……米田奈生、清水桜子 (pp. 25-26)

そうだ京都、行こう。



9月29日午後、教育学部前のキンモクセイの写真を撮ろうと久しぶりに吉田キャンパスに行きましたが、猛暑だったせいか、まだ花も咲かず香りも全くしませんでした。そこで10月いっぱい閉店する王将出町店のことを思い出し、夕ご飯を兼ねて訪れました。

「皿洗い30分で無料」の恩恵に浴した卒業生・現役生も少なくないのではと思います。北白川「白水」に続き思い出の店がまた一つ、寂しいですね。(編集人)



## わたしの仕事 (22) 富士通株式会社

内藤 拓 (H23/2011卒)

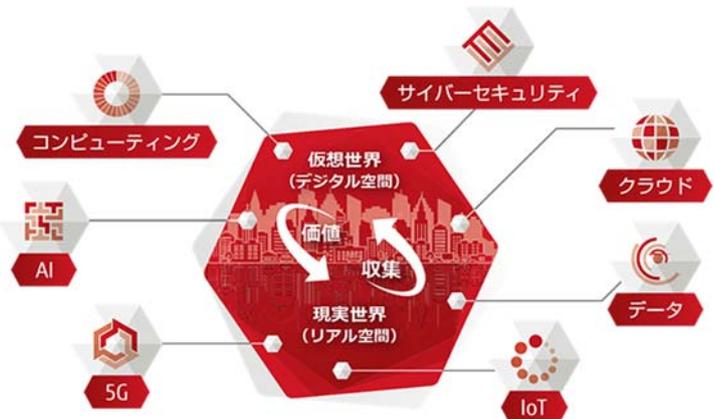


### 1. はじめに

私は京機会関東支部の若手副幹事を担当させていただいており、その縁でありがたいことに吉田先生から寄稿の依頼をいただきました。私は富士通株式会社に入社し8年目を迎えました。富士通と言えば最近では世界一の計算速度のスーパーコンピュータの富岳を製造したことで話題になりましたが、主はICTサービスを提供するソフトウェアの会社となります。最近のキーワードではAIやクラウドサービス、5G、ビッグデータなどの分野でよく名前を聞くかもしれません。京機会の人には自動車や電機などのハードウェアの会社に就職することも多いですし、私も学生時代に就職活動をした際はそれらの企業を先に見たことを覚えており、少しでもソフトウェアの会社の印象が変わればと思い投稿させていただきます。



スーパーコンピュータ富岳



富士通が提供するテクノロジー分野

詳細な仕事内容の前に自己紹介をさせていただきます。私は3回生までは体育会ゴルフ部の活動に専念しており、その経験により、社会人になった後も社内コンペや京機会のゴルフ大会に参加させていただくなど良い経験になりました。B4からM2までは機械システム創成学研究室（榎木研究室）で人と機会の共創の知の分野の研究をさせていただきました。直接的には現在の業務と学生時代の研究は異なる分野になりますが、UX（User Experience）の概念が浸透した今の世の中

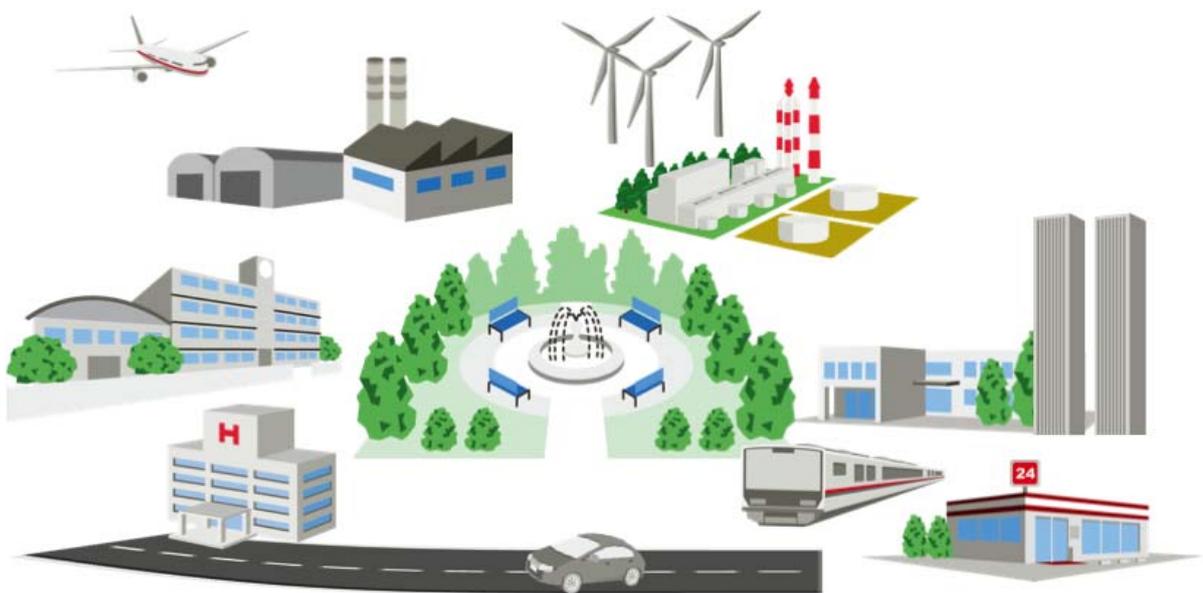
に必要な理論を学ばせていただいたと感謝しています。

2013年に修了した後は富士通に就職し、入社以来ずっと品質保証業務に従事しています。最初の6年間は個々のプロジェクトの支援として品質監査や品質教育を、2018年からは全社ガバナンス業務として品質基準の策定やグループ会社への基準の浸透の業務をしています。京機会の人は就職すると設計業務や生産管理業務などに配属される人が多いので少し珍しい業務でイメージが付きにくい業務かもしれないです。

## 2. 富士通株式会社について

富士通がどのような会社かを考えるために2019年度の売上を見ると、3.9兆円の内、ICTサービスやクラウドサービスなどのソフトウェアビジネスが3.1兆円、スーパーコンピューターなどのハードウェアビジネスが0.5兆円、半導体などの電子部品が0.3兆円の会社です。ハードウェアが少ないこともあり直近3年の京機会からの就職を調べると、2018年は2名、2019年は0名、2020年は2名の合計4名とそれほど多くはないです。同業他社についても京機会からの就職はNECが3年で1人、NTTデータと日本IBMは3年で0人と少ない状態になっております。

しかしお客様の会社名を見るとトヨタ自動車や川崎重工、島津製作所など、京機会の人が就職する会社も多く、機械理工の思考力は必要になります。また、世の中の社会インフラを支えるためにはICT技術が必要となり、世の中の社会インフラを支える会社としてのやりがいを感じられると思います。

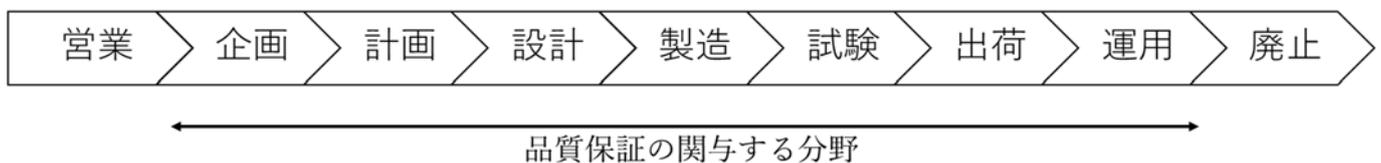


ICT技術が支える社会インフラ

### 3. 品質保証業務について

モノづくりのプロセスを簡略化すると企画→計画→設計・製造・試験を経て市場に出荷して良いか判断されます。また出荷された製品・サービスが安定して稼働するように出荷後に適切な管理をしていきます。品質保証の業務はこれらのモノづくりのルールを定めることや、適切にルールを運営されているか確認すること、ルールの見直しが必要な場合に改善すること、などを実施します。各々のプロセスと品質保証業務で行うことを記載すると下記ようになります。

- ・ 企画：市場やマーケティングの分析、販売計画などや技術的要件を検討  
⇒品質保証業務では企画内容の実現可能性やリスクについて検証します
- ・ 計画：開発スケジュールや体制構築、レビューや試験の方法を検討  
⇒品質保証業務では計画内容の妥当性や実現に向けた課題を検証します
- ・ 設計、製造、試験：計画に沿って、設計書作成やプログラミング、試験  
⇒品質保証業務では設計書やプログラムのレビューや、試験の実施により妥当性を確認します。またレビューや試験内容を成果物の品質分析を行います
- ・ 出荷：要求事項が満たされていることを確認し市場に出荷  
⇒品質保証業務では市場へのリリース要件を満たしているか検証します
- ・ 運用：お客様先で安定して製品・サービスが運用できるよう管理  
⇒品質保証業務では状態の監視や変更発生時の対応を行います



このように品質保証業務は製品・サービスのライフサイクル全てに関わる業務となってきます。また、各プロセスを実現するために必要なルール作りを行うことも品質保証業務の一つとなります。

### 4. わたしの仕事

前述の例は1つのプロジェクトを確認する品質保証業務の説明をしました。わ

たしは全社横断的な品質保証を行う部門に所属し、各々のプロジェクトが適切に品質保証業務を運営できるように支援する業務をしております。富士通のお客様の業種を見ると「製造」「流通」「物流」「金融」「公共」「自治体」「官公庁」「ヘルスケア」「文教」「ライフサイエンス」と多岐に渡るために、社内の各部署のノウハウを集め、社内の最適な基準の制定や基準の浸透を行う活動をしていきます。

#### 4-1 新入社員～4年目：品質監査業務

入社した当初は開発プロジェクトの監査業務をしていました。プロジェクトを成功に導くためには様々な品質保証活動が必要になりますが、その運営を適切に行えているか第三者の観点で確認する業務となります。単にルール通りの開発や運用を行えているかを確認する訳ではなく、効率的に品質リスクの低減活動ができているかに焦点を当てて確認をしていました。例えば、計画通りのレビューを行えていない場合、単にレビューを割愛すると後々に品質問題に繋がりますが、品質を確保しながら効率性の良い代替手段を適用する方が良いプロジェクト活動になります。そのようにルール通りにできない場合のリスク有無を確認していました。年間で80件程度のプロジェクトの監査を行い、開発者がどのような思いでプロジェクトを運営しているのか、プロジェクトごとの細かい開発手法の違いなどを勉強していました。

また、この時の経験を基に社会人4年目の時には日本科学技術連盟主催のソフトウェア品質シンポジウムと言う場で論文発表も行いました。学生の頃の学会発表は理論の実証のための場でしたが、社会人のシンポジウムだと実務面にどのように貢献できるかの発表という点で同じ論文発表と言っても中身が大きく異なることも感じました。



ソフトウェア品質シンポジウムでの発表@東洋大学

#### 4-2 5年目～6年目：品質コンサルティング、品質教育

5年目になると前述の品質監査業務に加え、1つのプロジェクトの中に入り込んだ品質コンサルティング業務を行いました。具体的にはプロジェクトを成功に導くためのスケジュールや人材像、プロジェクトを評価するKPI（Key Performance Indicator、重要業績評価指標）、各情報の管理方法などをプロジェクトの人と検討します。プロジェクトが進むにつれて計画通りに進まないことも多々発生しますので、そのたびに改善方法も検討していきました。また、プロジェクトメンバに品質活動を行って貰うための品質教育の資料作成や教育講師を行いました。

品質教育については富士通外への外販ビジネスも行っており、品質保証部門に居ながら営業活動を経験することができました。社会人4年目までは品質リスクの低減だけを目的にしていたのですが、品質コンサルティングや教育で社内外の様々な人と深く話をすると、経営改善のための品質向上の必要性をより理解できるようになりました。

#### 4-3 7年目～8年目（現在）：品質面からのグループ支援、CSR活動

7年目には富士通グループ会社全体の支援をする部門に異動しました。富士通は国内に約100社、国外に約300社のグループ会社があります。これらのグループ会社が自身の長所を活かしつつ富士通グループとしての守るべき品質ルールを遵守できるように支援をする業務を行っております。各グループ会社が適切な品質体制の構築をできるように支援し、また、グループ会社の品質の責任者の方々と協力して各社に品質向上活動をして貰う活動を行っております。

数百のグループ会社を相手にすると各社で強みも目的も異なるので、各社が納得して富士通グループとして一丸となった品質活動を行えるように富士通グループ全社に適用する最適な品質ルールの整備も行っています。COVID-19が流行してからはもっぱら電話会議になってしまいましたが、それまでは各社の人と打ち合わせをするためにあちこちへ出張させて貰い、2019年には30の都道府県に出張しました。様々な拠点で打ち合わせをすると、同じ富士通グループと言っても思惑の違いがあることをとても感じました。

### 5. 最後に

今のわたしの仕事を振り返ると、9月1日は金融業向けのサービスを提供する部

署と打ち合わせ、9月2日は製造業向けのサービスを提供する部署と打ち合わせ、9月3日は官公庁向けのサービスを提供する部署と打ち合わせ、9月4日はグループ  
全社施策を考え、9月7日は流通業向けのサービスを提供する部署と打ちあわせ、  
という感じで様々な部署と付き合っています。今回、本寄稿にあたり過去の「わ  
たしの仕事」を読み返すとみなさま一つのプロジェクトを推進しているために分  
かりやすく、それに比べて今回のわたしの仕事は分かりにくい部分も合ったか  
と思います。

ただ、学生のみなさまも大企業に入社する人が多いと思います。その時にちょ  
っと横の部署や、子会社の仕事内容を見ると、全く異なる仕事をしていることに  
気がつくと思います。最近、大企業でも何か違うと思って会社を辞めてしまう人  
も多いですが、その会社の事業を見直すと意外と今まで異なることに気が付くと  
思いますので、就職した後も自分の会社はどういう会社かを常に考えると面白い  
と思います。例えば京都大学の機械理工と一言で言っても研究室によって雰囲気  
も習慣も大きく異なることと同じですね。

また、わたしは業務の他にも女子バスケット部の応援団や、部門横断の交流会の主  
催、東京オリンピックのボランティアなどを行っています。この京機会の関東支  
部の若手副幹事も業務外の活動ですね。また、思うことがあって2019年4月より  
某大学院の社会人コースに入学し、2回目の大学院生活をしております。就職する  
と学生の時以上に自分の好きにできることが増えるので、様々な活動を通じて、  
自分が何をしたいかを考えると楽しい社会人生活を送れると思います。みなさま  
も残りの学生生活とその後の社会人生活を楽しめるようにしてください。

## The car which I loved (7) 1976年型ポルシェ911S(の中古)

重田達雄 (S50/1975卒)

「CG長期テストNo.81ポルシェ911S」と聞いてお分かりになる方が京機协会会员に果たしてどれだけおられるだろうか。「CG」とはその昔ニ玄社という出版社が発行していた自動車専門誌の「CAR GRAPHIC」誌であり（現在は株式会社カーグラフィックが発行）、同誌が実際に車を購入して長期間にわたって担当者が普段も含めて実用に供してテストするという企画が「長期テスト」、新車がほとんどだったが中古車もやってみようとなって始まったのが「No.81ポルシェ911S」なのです。そして、およそ一年間のテストを終えたクルマを引き取り、継続してレポートを同誌に寄稿していたのがかくいう私なのである。もしあなたが古くからのCG愛読者なら、1987年12月号と1988年11月号を見ていただくと、私のレポート記事を読んでいただけるのですが。



ポルシェ911は1963年のフランクフルトショーでデビューし、現在も基本的なエンジン配置（リアエンジンです）と全体フォルムを保って生産されている名車です。いつかは乗ってみたい、所有してみたいという若いころからの願望がなかったのは1987年、34歳の時でした。CGは中学時代からの愛読誌であり、編集長の小林彰太郎さんを当時から崇拝していた私が、ふとしたことからある人を介して親しくさせていただくようになり、件の長期テスト車ポルシェ911S担当のIさんと友人付き合いが始まり、それが縁で同車の長期テストを引継ぐということになったのです。

当該車は1976年型、165HPを発生する排気量2.7リッターの水平対向6気筒空冷エンジンをリアアクスルの後方に搭載し最高速度220km/hを謳うものの、そのエンジン搭載位置に起因する一癖ある操縦性を持ついわば「じゃじゃ馬」スポーツカー。昨今、165HPはなんということない数字ですが、当時では出色のエンジン性能でした（参考までに、BMW320：109HP、フェアレディZ-L：130HP、セリカLB2000GT：130HP。ところが同時代のスポーツカーでポルシェと双璧をなすフェラーリ308を今回あらためて調べてみると255HP、さすがですね。但しポルシェの名誉のために付記すれば、上級モデルであるターボは245HP）。勿論マニュアルトランスミッション（4段！）。300HP、400HPあってもオートマで誰でも簡単に転がすことのできる現代の車と違って、デリケートなクラッチをいたわりつつ極限での挙動特性を把握したうえでの操縦が必要な車だったのです。とはいっても、特段のドライビングスキルを有していたわけではない私がどんな風に感じていたのか、1987年12月号の記事から一部を抜粋してみます（CG誌の了解済）。



まず“走り”だが、この11年モノでも文句なく速い。4000rpmあたりから上のフルスロットル加速などはちょっとしたドラマで、初めのころなぞ踏み込んだ本人がびっくりしてしまったほどだ。エンジンがバランス良く回転を上げる様も誠に心地良く、下がりもこれまた速い。ブレーキペダルが飛び出していてやり難いヒール&トゥ（大分慣れました）でモタついていると、回転が落ち過ぎて合わないほどである。高速での安定性も、前後にスポイラーを装着した現状では全く問題なく楽しめる。それでは、走らせるための操作はどうかというと、これも伝え聞くほどに難しくはないと思う。床から生えるペダル類も前述のブレーキペダルの高さを除けばさほど違和感なく、ヘルパースプリングを備えるクラッチペダルもすぐに慣れることができる。ただグニャグニャした感触のシフトは操作上問題

ないものの、個人的には好みではない。何よりも前後ストローク過大（25cmほどもある）である。なお、クラッチミートはレクチャーどおりアイドリング+α、1400rpmぐらいで行っている。もちろんそれから踏み込んでいっても十分に速い。

次に“曲がり”。極限を見極めるまでの振り回しは、まだまだとてもできる腕ではないが、その範囲内であれば基本的にニュートラルである。ロールも小さく抑えられ、2速の上の方を使うコーナーなんぞは本当に楽しく歌い出したくなる。ただ、保舵力、キックバックはかなりのものであり、私も最初その大きさに驚いた。細腕の女性には、多分手に余ると思う。今履いているのはピレリのP6だが、CGによるとミシュランはもうひとつシャキッとするとのこと、早くP6が減らないか待っているところである。

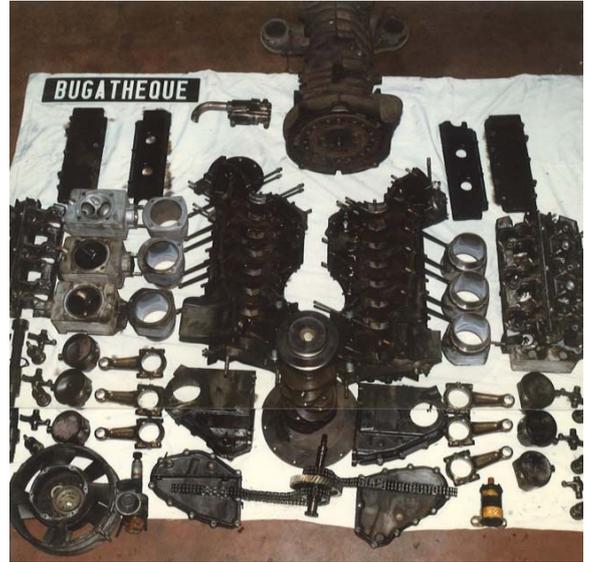
“止まり”はもう満点をつけてしまいたい。地球の自転をも止めてしまうぐらいにジワリと効く。そして、何よりも剛性感に満ち満ちているのが正に特筆もので、これほど安心して踏めるブレーキを私は知らない。サーボが付く前のタイプなので、踏力は若干大きいが全く問題なく、サーボ付きがどんなフィールを示すのか知りたいものである。

乗り心地はと言えば、程よい硬さ、ドイツ的な硬さということであろうか、シユアという言葉がピッタリあてはまるように思う。ただ、以前指摘されていた足回りの“ドタバタ感”がまだ残っているような気がする。もっとも新車の時を知らないで、何とも言えないし、一番ダルな時代の911というのは、こういうことも含めてのことなのかも知れない。

今読み返してみると、表現に幾分大げさな部分もありますが、当時の私にとっては真に“プライド&ジョイ”を提供してくれるクルマで、結局3年半・3.5万kmを走りました（参考までに生涯燃費は6.4km/ℓ）。家族のクルマは別にあるものの、私のクルマはこれ一台であり、通勤から何からこれ一台で済ませていました。冬にはもちろんスノータイヤ（当時はスタッドレスとは言わなかったような気がします）を履かせて、乾燥路では経験することが難しいテールスライドを楽しんだりもしました。

2年目にはエンジンのフルオーバーホールという大工事に踏み切りました。ことの発端は、それまで1000km/ℓ程度だったエンジンオイル消費量が350km/ℓ（!）に悪化したことです。このエンジンは空冷と言いながらも半ば“油冷”で

あるとも言われていて、オイル規定量はなんと11ℓ(!)。そのオイルが少しずつ漏れるか燃えるかで、継ぎ足し継ぎ足し走っていたのですが、もはや限界かとの判断に至ったわけです。ブガッティ(現代ではなくて戦前の)の修復・修理で有名な旧知の工房に作業を依頼し、少しでも費用を抑えるために主にアメリカから補修パーツを取り寄せたりもしました。それでも、当時の大衆車が新車で買えるほどかかりましたが…。ボルト一本にまで分解してから、全ての消耗部品を交換して入念に組み上げられたエンジンはまるで芸術品のような外観であり、慎重に慣らし運転をして“新車”の雰囲気を楽しんだものです。



掲載記事を読んで遠方から足を運んでくれた同好の氏にいろいろアドバイスを貰ったり、冬用のロードホイールを提供してくださる方がいたり、夏タイヤのモニターを依頼されたりして真に楽しめた3年半でしたが、次に乗りたいクルマもあり、熱心に希望する友人に惜譲(最近あまり聞かない言葉ですね)しました。

いつかはまた所有してみたいものだと思いながらいつしか30年。現代の911は相変わらず第一級の性能を有しているようですが、おそらく誰でも転がせるクルマになってしまっているでしょうから欲しいとは思いません。もっとも、あの値段ではとてもとても手が届くものではありませんが…。今は、二十年近く以前に入手した某イタリアンGTの修復が成り、これからガンガンいやユルユルと転がしてやろうと考えています。

余談その1: 911と同等あるいはそれ以上に“好きな”クルマがあります。シトロエンの2CV、通称「2馬力」です。就職した年に個人売買で中古を入手して4年間愛用、その後も時をおいて2台所有しました。最初のクルマそのものが、今も石川県の日本自動車博物館に展示してあります。

余談その2: 本連載No.4のBMW2002、よく覚えています。学生の頃、構内東南隅の駐車スペースにいつも停めてあり、ひととき目立つ存在でした。当時私はスバル360、その後トヨタスポーツ800で通学していましたが、構内どこでも駐車OKという良き時代でした。

## ドイツ俳句のそれから (3)

稲積 充 (S32/1957卒)

【第3部】 Sommergras からの精選 : その3  
(Auswahlaus dem Sommergras Teil 3.)

Nummer	原詩 Original		和訳 Übersetzung ins Japanische	
	私の感想 mein Eindruck			
Nr.98 Sept. 2012	28)	Glühwürmchen— sein Zögern zu Hause am Lichtschalten Winfried Benkel	照明を 消そかと迷う 蛍かな ヴィンフリート ベンケル	
	作者の詩人的悩みですね。 Das muß dichterisches Leiden des Autors sein.			
	29)	Touchdown dein Kopf an meiner Schulter Hans Jürgen Göhrung	汝(な)が頭(こうべ) 私の肩に 置き給え ハンス ユルゲン ゲールンク	
	これはきっと俳句の形の恋文に違いない。 Das muß bestimmt ein Liebesbrief der Form des Haiku sein.			
	30)	nach dem stolpern : der vorwurfsvolle blick auf den stein Gérard Krebs	躓いて 咎めるように 石を見る ジェラルト クレプス	
	石も「ああ、痛い」と感じたことでしょう。 Es klingt, dass auch der Stein „au weh!“ fühlte.			
	31)	Waldgottesdienst. Die Gemeinde schaut gebannt auf das Eichhörnchen. Wolfgang Farin	森祓(はら)い 町は「リスには ご注意」と ヴォルフガンク ファリン	
	この町では、リスは王子さまの待遇です。 Das Eichhörnchen wird in dieser Gemeinde als wie Prinzen behalten.			
	32)	Stadtführung — barfuß durch den alten Dom	街案内 古びし聖堂 裸足にて	

		Franz Kratochwil	フランツ クラトハヴィル
		この案内人は、いつまでも少年の心を持ちながら、街の案内業を楽しんでいるらしい。 Anscheinend genießt immer dieser Führer seine Geschäft der Stadtführung mit dem Sinn eines Jungen.	
	33)	verstehen lernen den dialekt des Windes in den Kopfweiden René Possél	切詰めし 柳に風の 訛り聞く レネ ポッセル
		風の訛りを理解できる作者は、偉大な言語学者に違いない。 Der Autor, der den Dialekt des Windes verstehen kann, muß ein großer Sprach-wissenschaftler sein.	
	34)	Knospender Kirschbaum An seinen Ästen legen weiße Wolken an Angelica Seite	大枝に 雲を置きたる 桜かな アンゲリカ ザイテ
		桜の大枝の幾つかの蕾は、白雲に変身したらしい。 Einige Knospen an der Ästen des Kirschbaumes verwandelte sich vermutlich in weiße Wolken.	
Nr.99 Dez. 2012	35)	Befunderöffnung das Gesicht im Fenster ist meins Simone K. Busch	診断の 告白を聞く 私の顔* *(窓に映る顔) シモネ カー ブッシュ
		窓に映った顔は、緊張のあまり引きつっていたでしょう。 Das Gesicht der Autorin im Fenster mußte sich vor der Spannung krampfen.	
	36)	Heute Morgen Großmutter's Schöpföfcell voll Schnee Brigit Heid	今朝祖母の 雪いっぱい 大匙や ブリジト ハイト
		この祖母は、きっと百歳以上長生きするに違いない。 Diese Großmutter muß bestimmt so lange über 100 Jahre alt leben.	
	37)	Im Septembermoor – unsere langen Schatten streifen Grasbüschel	長い影* *(私たちの影) 九月の湿地 草に触れ

	Kenji Takeda	タケダ ケンジ
	<p>作者は、初秋の軽い寂しさを詠みました。 芭蕉は晩秋の深い寂しさを次のように詠みました。 「此の道や行く人なしに秋の暮れ」（芭蕉） Der Autor dichtete über die leichten Einsamkeit am Anfang Herbsts. Dagegen dichtete Bashō über die tiefe Einsamkeit am Ende Herbsts wie folgt : <i>Diesen Weg muß sich allein gehen – Herbstabenddämmerung.</i> Matsuo Bashō* *Singen von Blüte und Vogel : Keiji Katō, Werner Schaumann, Nagata Shobō 2004</p>	
38)	sprachlos beim Anblick der donnerunden Rede des Wasserfalls Klaus-Dieter Wirth	言葉なく 滝の轟 見つめ合う クラウスーディーター ヴィルト
	<p>日本では、大きな滝には神が宿る、と言われます。その滝に神を予感する、と作者は感じるらしい。 In Japan sagt man, dass Gott im großen Wasserfall wohnt. Auch der Autor scheint zu fühlen, dass Gott im Wasserfall ihm ahnt.</p>	
39)	Die Künstlersiedlung. Mitten im Wald ein Wald bunter Briefkäten Boris Semrow	美術家の 森の文箱 華やかな ボリス ゼムロー
	<p>その美しい文箱には、きっとたくさんの手紙と共にたくさんの鳥の声が入ってくるでしょう。 Da werden bestimmt Gesänge vieler Vögel neben vielen Briefen in die bunten Briefkästen einkommen.</p>	
40)	Unsere Träume . . . eine Spinne spannt ihr Netz zwischen zwei Wolken Udo Wenzel	わが夢や 雲の間に 蜘蛛の巣を ウド ヴェンツェル
	<p>その夢は作者の俳句の中でこそ実現されるでしょう。 Dieser Traum wird im Autors Haiku selbst sich zu verwirklichen können.</p>	

Nr.100 Mär. 2013	41)	silberscheibe mond in samt'ger nachtschatulle mein hochzeitsgeschenk Dirk-Uwe Becker	新婚の 手箱*の中の *(結婚の贈り物) 銀の月 ディアク-ウヴェ ベッカー
	この銀の月は、新妻の姿を比喩的に表現しているらしい。 Es scheint mit <i>silberscheibe</i> das figürliche Bild der Braut auszudrücken.		
	42)	verschwiegen in Sütterlin; ihre Gefühle Helga Stania	秘められし ジュッター字体*に その気持ち ヘルガ シュタニア *(1911年プロイセン文化省が 定めた草書体)
作者は彼女のジュッター字体で、彼女を生き生きと思い出します。その書体は100年前に生きた祖母のものでしょう。 Die Autorin erinnert sich lebendig an sie durch ihre Sütterlinschrift. Die Schrift mag die von ihrer Großmutter sein, die rund vor 100 Jahren lebte.			
43)	Novembertag – über die alte Brücke ins Nirgendwo Franz Kratochwil	秋の日の 古き橋越え あてもなく フランツ クラトツハヴィル	
作者は純粋な詩人に違いありません。ここで次の名句が思い出されます。 「旅人と我名よばれんはつしぐれ」(芭蕉) Der Autor muß ein echter Dichter sein. Hier kann man sich an das berühmte Haiku erinnern wie folgt: <i>Einen Wanderer soll man mich nennen – erster Winterschauer.</i> Matsuo Bashō* *Singen von Blüte und Vogel: Keiji Katō, Werner Schaumann, Nagata Shobō, 2004 Seite 352			

(第3部終り das Ende. Teil 3.)

## 駒込界限と本郷通りの名所散策

中谷 博 (S34/1959卒)

私は平成2年より11年間、駒込界限で単身生活をしたので、本郷通りを散策することが多くなり、歴史的な名所や建造物を見る機会に恵まれました。以下、私が時々散策した本郷通りに面した主だった名所、旧跡や施設について記します。

### 飛鳥山公園と渋沢栄一史料館

王子駅に近い飛鳥山公園は北区の区立公園で、東京都内の桜の名所の一つです。(写真1)江戸享保期に、行楽地として整備され、明治6年には日本最初の公園の一つに指定されました。徳川八代将軍吉宗の命によって飛鳥山に桜が植えられ、享保18年に桜が花を咲かせるようになったとのことです。将軍吉宗による事績を顕彰する「飛鳥山碑」が建てられています。(写真2、写真3)桜の季節になると、多くの花見客で賑わいます。近代日本経済の基礎を築いた渋沢栄一は、非常に多くの銀行、製造会社、大学などの設立を行っています。設立に尽力した王子製紙の工場を眼下に見守ることのできる飛鳥山に邸を構えて内外の賓客を迎え、家族との日常生活の場として使用していたようです。しかし、第二次世界大戦の戦禍でほとんどの建物が失われましたが、接客用茶室だった「晩香廬」は現存していて、室内を見学することができます。(写真4)青淵文庫も現存していて、両方とも国の重要文化財に指定されています。旧渋沢邸跡地に立つ「渋沢栄一史料館」は、渋沢栄一の活動を紹介する博物館として1982年会館し、渋沢栄一の生涯と事績に関する多くの史料が展示されています。(写真5) 渋沢栄一の出身地の深



写真1



写真2

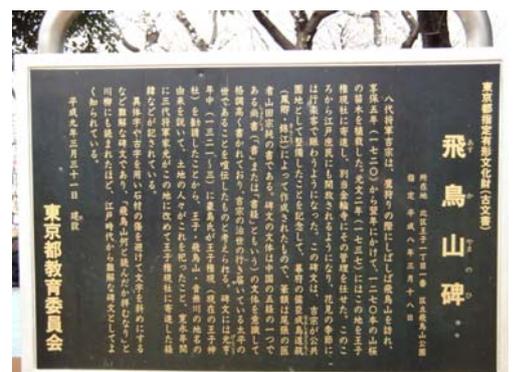


写真3



写真4

谷市には、「渋沢栄一記念館」があります。

### 滝野川公園と地震の科学館（北区防災センター）、 旧大蔵省造幣局滝野川工場

飛鳥山公園から東へ本郷通りを数分歩いた所に滝野川公園があります。この公園内に、地震の科学館（北区防災センター）があり、地震を体感する設備で、地震の震度を体感することができます。私が工業所有権協力センター勤務のとき、健歩会というサークル活動の「東京近郊ウォーキング」でこの防災センターを訪れた時に、震度7を実体験することが出来ました。（写真6）この防災センターでは、消防隊員の消防訓練が常時行われています。近くに、旧大蔵省造幣局滝野川工場があります。現在は、独立行政法人 国立印刷局東京工場となっているようです。お札づくりの現場を見学することも出来るようです。



写真 5

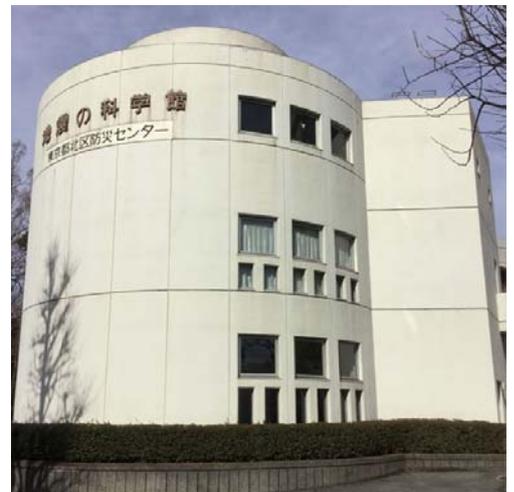


写真 6

### 旧古川庭園とジョサイア・コンドル設計の洋式建築

滝野川公園から本郷通りを東に進むと、南方向に曲がる交差点手前右手に「旧古川庭園」の門があります。（写真7）門を入ると洋式建築とともに広大な庭園が広がっています。旧古川庭園は、明治の政治家陸奥宗光が購入し、別邸としたものです。明治38年宗光の次男が、古川財閥の創業者の古川市兵衛の養子になったので、所有が古川家に移りましたが、当時の建物は現存していません。古川家3代目当主の古川虎之助が周囲の土地を購入して、古川家の本宅用として整備したとのこと。建築は、1917年に竣工、地上2階・地下1階で、イギリス出身の建築家



写真 7

ジョサイア・コンドルに設計を依頼して作られました。ジョサイア・コンドルは、神田駿河台にある「ニコライ堂」(1891年)や不忍池の近くにある「旧岩崎邸」(1896年)など多くの建築の設計で知られる建築家です。切妻屋根はスレート葺き、外壁は煉瓦造りの躯体を真鶴産の安山岩の野面積みで覆っているのが特徴のようです。「旧古川邸」はコンドルの晩年の設計で、洋館内部に和室を完全な形で取り込んだ非常に珍しい構造です。洋風庭園もコンドルの設計監理によるものです。戦後古川家の手を離れ国有になり、直後進駐軍に接收され、接收が解除された後荒廃が続いていたとのことですが、財団法人大谷美術館が東京都の助成金を得て昭和58年から63年まで6年間の歳月をかけて修復工事を行ない、平成元年より一般公開されています。(写真8)現在は、自由見学ではなく、ガイドツアー方式で見学会を行っているようです。

あらかじめ申し込めば、一階の洋室で喫茶を楽しむことができます。私も、一度たまたま申し込みなしで喫茶できる機会があり、家内と一緒に一階の洋室で庭園のバラを眺めながら喫茶を楽しんだことがあります。庭園は、現在「旧古川庭園」という名称で、都立の庭園になっています。この庭園は東京のバラの名所としても有名で、バラのテラスが階段状に連なって、立体的な庭園になっています。(写真9)(写真10)1919年には、洋風庭園に続く池泉回遊式の日本庭園が日本庭園の先駆者、京都の庭師7代目小川治兵衛により作庭されました。(写真11)7代目小川治兵衛は、平安神宮神苑や丸山公園などの作庭で知られているとのこと。建物も庭園も竣工当時の状態を保存している極めて貴重な事例



写真 8



写真 9



写真 10



写真 11

として、平成18年に国の名勝に指定されています。

### 駒込界限と駒込公園の染井吉野桜の碑

旧古川庭園の東側の石垣に沿った坂道を南方向へ下っていくと、山手線の駒込駅にたどり着きます。この駒込駅の北口を出るとすぐ「豊島区立染井吉野桜記念公園」があります。(写真12) 染井吉野はこの地域で発祥したとのことで、その由来を説明する碑が建っています。(写真13) 桜の「染井吉野」の発祥の地が駒込にあるとは全く知りませんでした。桜といえば「染井吉野」と言われるほどこの品種は日本中に広まっていて、一斉に咲き、一斉に散るのが日本人の心情に合っているのかもしれませんが、駒込駅の西側に、山手線の上に架かる駒込橋があり、2006年に完成したユニークな形状の新駅舎が見えます。(写真14) 橋の近くにある標識に豊島区、文京区、北区の表示があつたことを記憶していますが、駒込は3つの区が接する特異な場所になっていることを示しています。駒込駅の南側は東西に豊島区が広がっていますが、少し南は文京区です。本郷通りの東側文京区本駒込には、「都立駒込病院」があり、「エイズの治療」で一時広く報道されたことがあります。駒込駅東口を出て狭い通りを北に進むと、道の東側は北区で、西側は豊島区で、この狭い通りが豊島区と北区の境界になっています。この狭い道を北に進むと、東西にはしる道があり、この道の北側は北区になっていて、北区には近くに「聖女子学園」があり、幼稚園から高校まで一貫した教育を行っています。山手線駒込駅では、線路沿いに毎年4月から5月にかけてつつじの花が美しく咲くのが見られ、我々の目を楽しませてくれます。(写真



写真 12



写真 13



写真 14



写真 15

15) 私が駒込界隈に住むようになった翌年の1991年に、「地下鉄南北線」の駒込-赤羽岩淵間が部分開通しました。私は用もないのに駒込駅から西ヶ原駅、王子駅を通過して赤羽岩淵駅まで試乗してみました。ホームには、それまで見たことのない立派な「乗降用ホームドア」が備わっていました。(写真16) 新しい路線だから、このようなホームドアを設けることが出来たのだと思います。1996年には四谷と駒込間が開通、その後2000年、目黒駅まで全線開通しました。

私は地下鉄南北線が出来たので、駒込から短時間で本駒込、東大前を経て後楽園駅で降りて、東京ドームでのプロ野球観戦に利用していました。



写真 16

### 六義園と大名庭園

駒込駅から本郷通りを南方向に歩くと、間もなく右手に赤レンガの高い塀が数百メートル続くのが見えるようになります。これは六義園に巡らされた東側の塀です。六義園の入口は南側にあり、赤煉瓦の塀に門が設けられています。(写真17) 六義園は山手線の駒込駅に近いので、多くの観光客が駒込駅から歩いて六義園へ行くようです。六義園は、元禄8年(1695年)五代将軍綱吉から下屋敷として与えられた駒込の地に、側用人柳沢吉保が自ら設計、造営を指揮した大名庭園ということです。柳沢吉保は、平坦な武蔵野の土地に土を盛って丘を築き、千川上水を引いて池を掘り、7年の歳月をかけて、起伏のある「回遊式築山泉水庭園」を作り上げました。(写真18) 六義園は、多くある大名庭園の中でも、水戸藩上屋敷であった小石川後楽園とともに代表的な大名庭園に数えられています。「六義園」の名称は、



写真 17



写真 18

紀貫之が「古今和歌集」の序文に書いた「六義」という和歌の六つの基調を表す語に由来するようです。柳沢吉保自身が和歌に造詣が深かったとのこと。時代が下るにつれて、徐々に荒れたものの、江戸を襲った度々の大火にも耐えて明治を迎えました。明治初年に三菱の創業者・岩崎弥太郎が六義園を購入、維新後荒れ果てた庭園が整備され、このとき、今日見る赤レンガの塀で囲まれるようになったとのこと。関東大震災や東京大空襲にも被害を受けず、造園時の面影を残しており、1953年国の特別名勝に指定されました。現在六義園は、災害時の避難場所にも指定されています。起伏に富んだ六義園の中でも一番高いのが「藤代峠」です。標高35mあり、この峠から園内を一望することができます。

(写真19)は藤代峠から見た六義園の秋の紅葉風景です。(写真20)はしだれ桜、(写真21)はつつじの風景です。つつじ、桜、紅葉、いずれも時期も行楽客が多く趣があります。六義園の園内には、「心泉亭」と「宜春亭」という公園施設があり、売店もあります。

### 吉祥寺と榎本武揚、二宮尊徳（二宮金次郎）、八百屋お七

六義園から本郷通りを南に向かって歩くと、左側に吉祥寺の山門が見えます。(写真22)曹洞宗寺院の吉祥寺は、1458年太田道灌が江戸築城の際、和田倉付近の井戸から「吉祥」と刻銘した金印を得、これを瑞祥として青巖を請じて西の丸に建立したとのこと。「諏訪山」という山号は、この地が諏訪神社の社地であったことによります。徳川家康の関東入府にともなって、駿河台に移り、明暦の大火と



写真 19



写真 20



写真 21



写真 22

江戸の大火によって現在の駒込の地に移転したということです。吉祥寺の山門をくぐってしばらく進むと、左側に「釈迦如来坐像」があり、その少し手前を右折して数十メートル進むと「榎本武揚の墓」があります。(写真23) 榎本武揚は、戊辰戦争では旧幕府軍を率いて蝦夷地を占領、函館戦争で敗北して降伏、東京の牢獄に投獄されました。しかし、敵将の黒田清隆の尽力で助命され、釈放後、明治政府の外務大臣や農商務大臣などの要職を歴任した人物として知られています。二宮尊徳の像は、山門をくぐって数十メートル進んだ左側にあります。(写真24) 二宮尊徳は、江戸時代後期の農政家、思想家です。私の小学校の頃は、「二宮金次郎」として、学校の教科書にも載っていて、校庭には「金次郎の像」があったように思います。芝を背負って本を読む姿が、強く記憶に残っていますが、最近の子供たちは、「二宮金次郎」と言っても全く知らないと思います。山門をくぐって進むと間もなく、「八百屋お七と吉三郎の比翼塚」が左側に見えます。(写真25) 「八百屋お七の悲恋の物語」は知っていましたが、吉祥寺に「比翼塚」があることは全く知りませんでした。「八百屋お七」が井原西鶴の「好色五人女」に登場させたことで広く知られるようになったようです。「本郷の八百屋お七は、天和2年(1682)の火事で避難した寺(吉祥寺)で寺小姓の吉三郎に会い、恋に落ちたとのことです。家が再建され家に戻りましたが、どうしても吉三郎のことが忘れられなかったので「もう一度火事があれば会えるかもしれない」という考えに思い至り、ついに放火をしたとのことです。放火の罪で捕まり、鈴ヶ森の処刑場で火あぶりになりました。江戸の庶民は、彼女の娘心を憐れみ地藏を祭ったとのことです。」私は、ある新聞社主催の「東海道ウオーキング」の行事に参加した時、上野公園からスタートした初回の



写真 23



写真 24



写真 25

ウォーキングで、途中鈴ヶ森を通った時、「鈴ヶ森処刑場跡」について案内の人から説明を受けたことがありました。こんなところで処刑されたのかと「八百屋お七」の悲劇に思いを馳せたことを鮮やかに記憶しています。

### その他の名所について

上記の他に、東京大学の東側に道路を隔てて建つ「弥生美術館」、「竹久夢二美術館」の他本郷通りの西側の「樋口一葉旧居跡」などにも、立ち寄りました。「樋口一葉旧居跡」は、周辺のたたずまいが当時の面影を残していると言われていいますが、「手押しポンプ」の他、見るべきものは見当たらないようです。（台東区、吉原神社の近くにある「樋口一葉記念館」では、一葉を偲ぶことが出来る自筆の資料を多く見ることが出来ます）東京大学の「赤門」を過ぎて南方向に進むと、「本郷通り」から「春日通り」に出ます。春日通をしばらく東方向に進むと学問の神様、菅原道真を祀る「湯島天満宮」があります。（写真26）受験シーズンには特に多くの参拝客で賑わいます。学問だけでなく、いろいろな「幸福祈願」のため多くの人々が参拝に訪れる神社です。湯島には江戸時代、大奥で権勢を振るった「春日局」を祀る「麟祥院」があり、春日通りは「春日局」に由来する名称です。東京は、今も江戸時代の名残をとどめている場所が随所に見られ、散策の楽しみが多くあり、飽きることはありません。



写真 26

## グラビア：桂キャンパスの校舎の廊下が朝日に染まる瞬間

9月15日の  
日の入方向

9月15日の  
日の出方向

桂キャンパスの校舎は、ほんの少しですが東北東（西南西）に向いています。

このため、廊下東端にまともに日の出が見られるのは、春分（日の出は真東）より少し遅め、逆に秋分（日の出は真東）より少し早めになります。



日の出・日の入マップ <https://hinode.pics/> より（2020年9月15日）

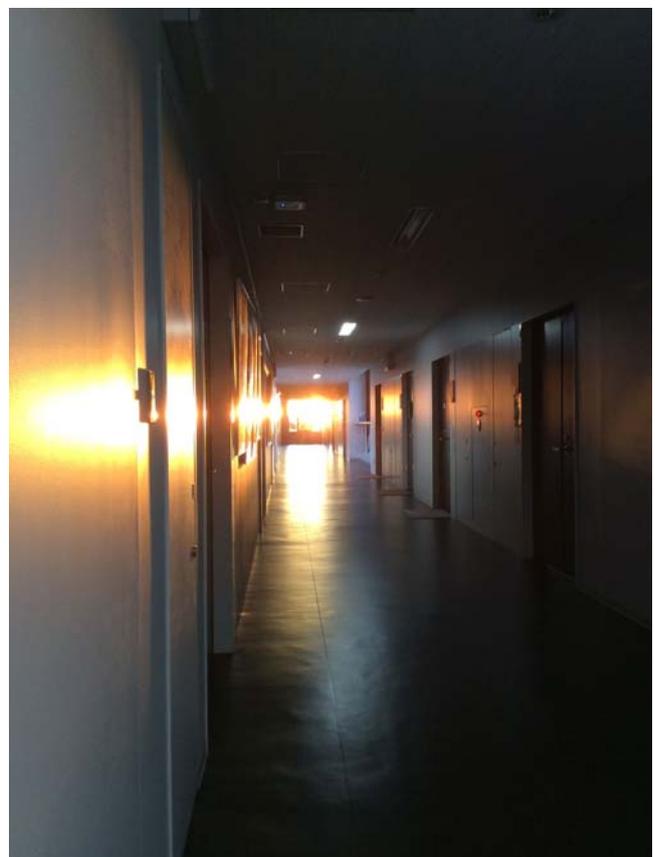
下の写真は、iPad のカメラ（自動露出）で撮影したので迫力に欠けますが、実際の眺めは廊下がオレンジ色に染まって壮観です。



<https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/access/katsura/2020katsuramap>



2020年4月3日5時57分



2020年9月15日5時45分（編集人）

## COFFEE BREAK @Zoomのご案内

米田奈生 (H29/2017卒、蓮尾研 D2)

清水桜子 (H30/2018卒、榎木研 D1)

## C3 COFFEE BREAK

October

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8	9 ☕	10
11	12	13	14	15	16 ☕	17
18	19	20	21	22	23 ☕	24
25	26	27	28	29	30 ☕	31

15:00-16:00

@Zoom

☕ : 開催日



朝晩ぐっと涼しくなり、道端も空も段々と秋めいてきた今日この頃ですが、いかがお過ごしでしょうか。学生にとっては一年の折り返し地点、後期の授業が始まります（悲喜交々の声）。今年の**COFFEE BREAK**も、半期を経てZoom開催であることによりかなり慣れて定着してきたように感じます。C3棟1階カフェテリアSoleilで行っていたのも忘れそう？とはいえ、キャンパスに人影も戻ってきていますので、対策をした上で、対面の場を取り戻していくこともやぶさかではなくなってくるかもしれません。

さて10月からは曜日を変更し、毎週**金曜日の15時～16時に開催します**。今月のカレンダーは、D2のYさんが小学校時代の恩師からいただいた写真です。撮影場所や時期は分かりませんが、奈良の法起寺で撮影したものではないか、とのこと。青空にコスモスと緑の彩りが映え、奥に立つ塔の屋根の重なりが落ち着いた雰囲気を醸し出していますね。季節の花と、時代を超えてそこにある姿とを包み込む陽気と風があたたかく清々しい一枚です。

ここからは少しご報告です。特別企画「**COFFEE BREAK with 卒業生**」を8月10日と9月21日の2回にわたって行いました。のべ11人の卒業生と13人の在校生、教員の皆様にご参加いただき、楽しく刺激あるひと時となりました。在校生は学部生から博士学生まで、また卒業生も幅広い年齢層の方々と交えてお話することができました。この企画にご協力いただいた諸先輩方、ありがとうございました。

Google Mapで離島にお出掛け・故郷にご招待  
博士行こうか悩んでいます、、  
研究内容と就職ってどれくらい関係ある？  
今年のインターンはこんな感じ  
ワークライフバランス、どんな働き方したい？  
宮島っていいところ！  
最近のキャンパスには立て看板がない  
桂キャンパスって過ごしやすい？  
あの研究室の先生の系譜は…

こんなお話で賑わいました。

**COFFEE BREAK**では、引き続き、学生・教職員・卒業生の参加をお待ちしています。（コーヒーとお菓子は各自ご準備のほど……。）また、Googleカレンダーを用いた開催スケジュールの共有と、開催のリマインドメールの配信を行っています。希望する人は、[coffeebreak.kyotouniv@gmail.com](mailto:coffeebreak.kyotouniv@gmail.com) または こちらのフォーム(<https://bit.ly/2A6sC6X>) からどうぞ！



**COFFEE BREAK の開催場所**

<https://us04web.zoom.us/j/73024274674>

ミーティング ID: 730 2427 4674

パスワード: **coffee2020**